

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成28年度 教育改革ICT戦略大会

C-4 『DVDを活用した教育実践 ～学生－社会人ギャップを乗り越える 育成モデルの構築』

○田上 正範（追手門学院大学基盤教育機構）
山本敏幸（関西大学教育推進部）

日時：2016年9月8日(木)

場所：アルカディア市ヶ谷（東京私学会館）

発表概要

1) 背景と目的

2) 方法

3) 成果

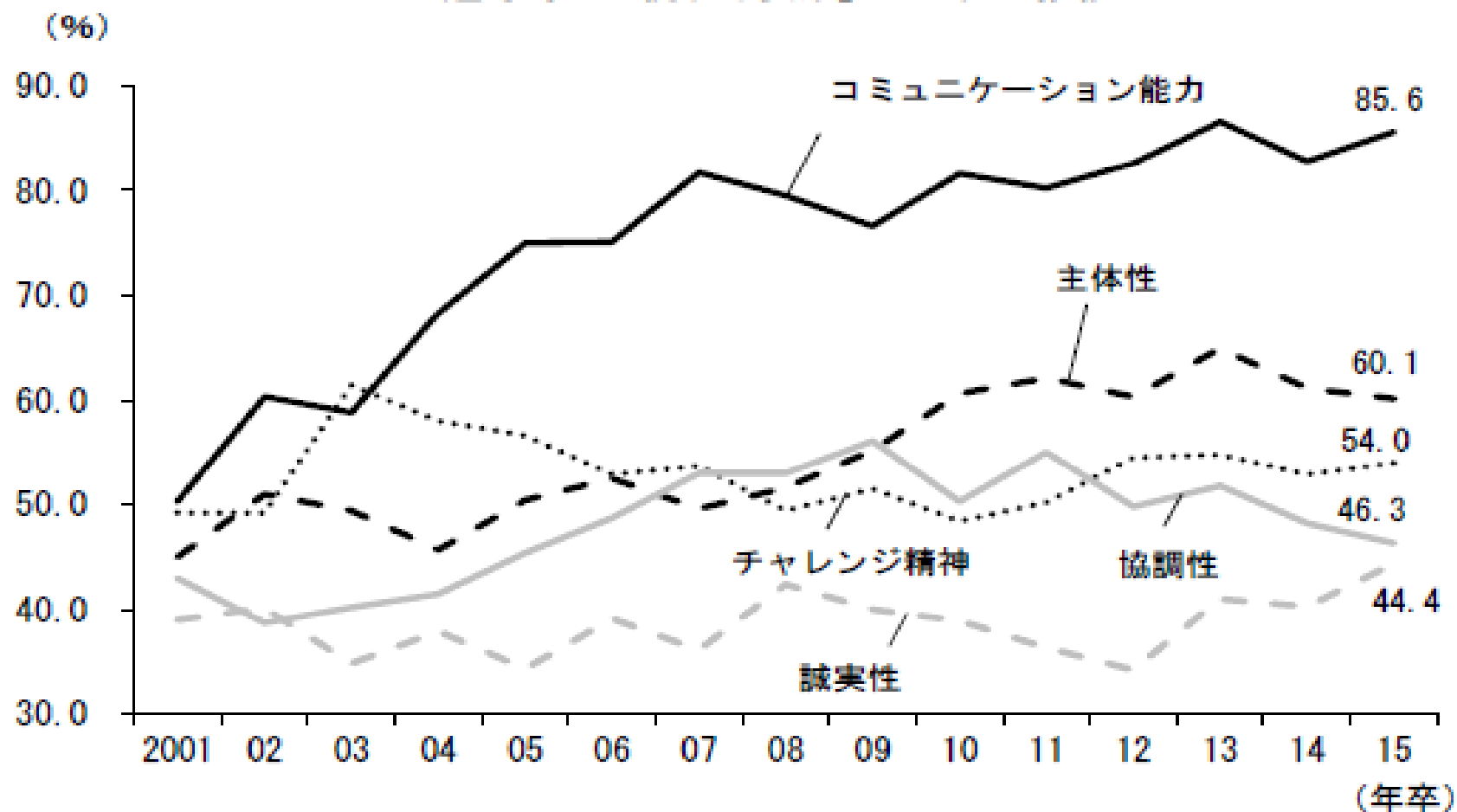
4) 今後の課題

※平成26年度科研費（基盤C：JSPS科研費26350294）の研究課題の中から、教材開発について報告するものです。

1. 背景

採用選考時に重視する要素の第1位は「コミュニケーション能力」が10年以上連続

「選考時に重視する要素」の上位の推移

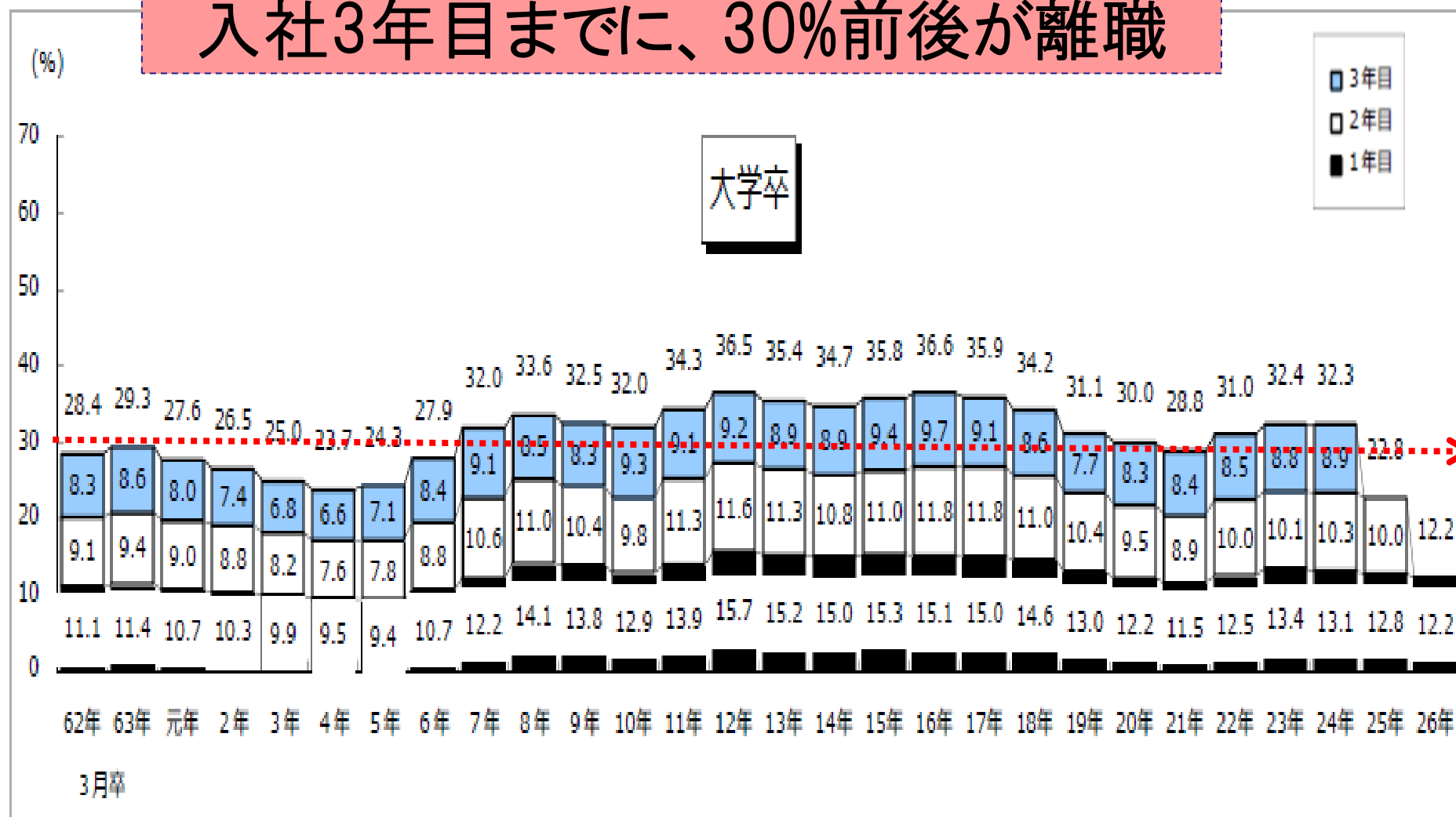


引用：日本経済団体連合会ホームページ〈 <http://www.keidanren.or.jp/policy/2016/012.html> 〉

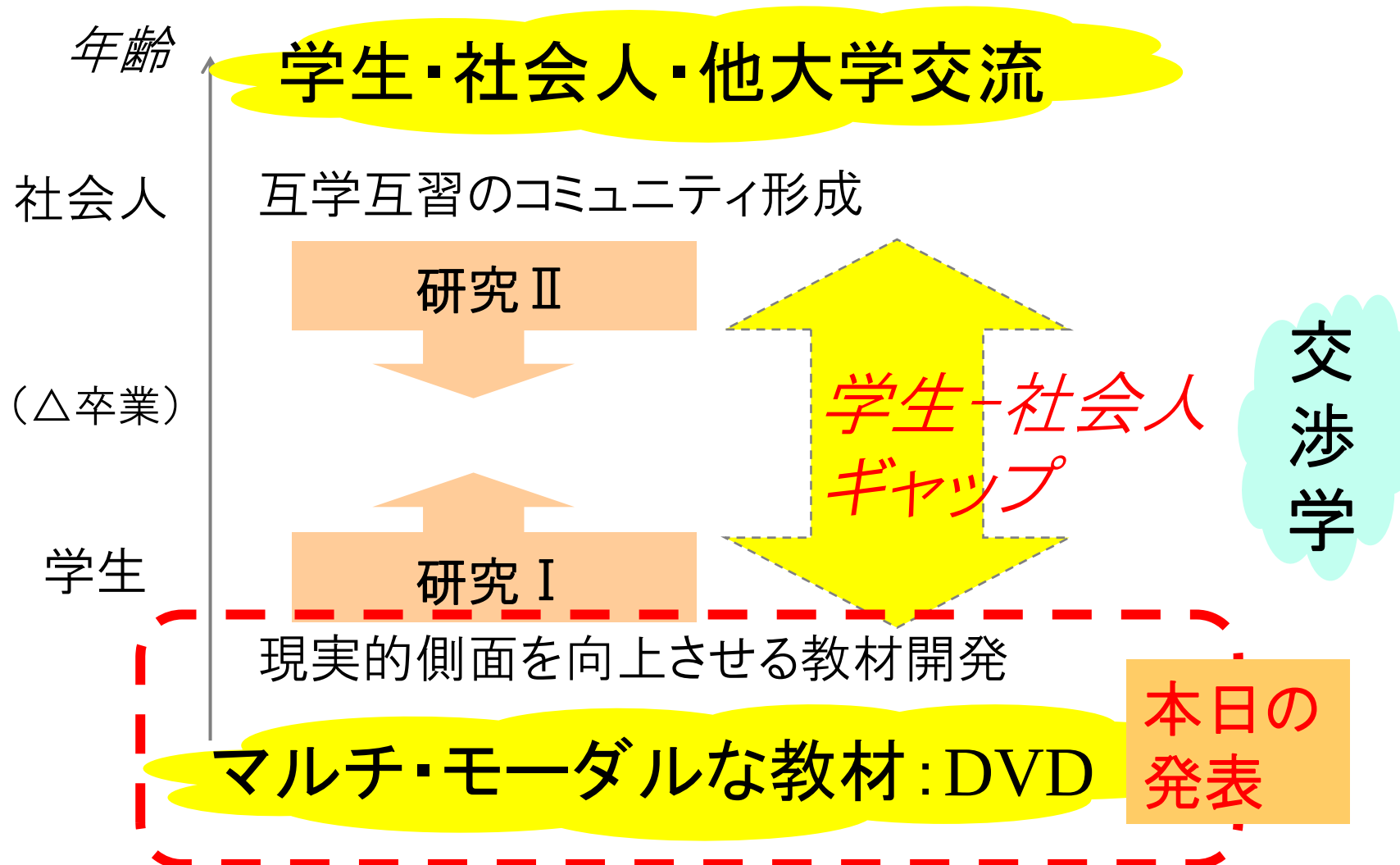
学卒の離職率

引用:厚生労働省HP「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/24-02.pdf>

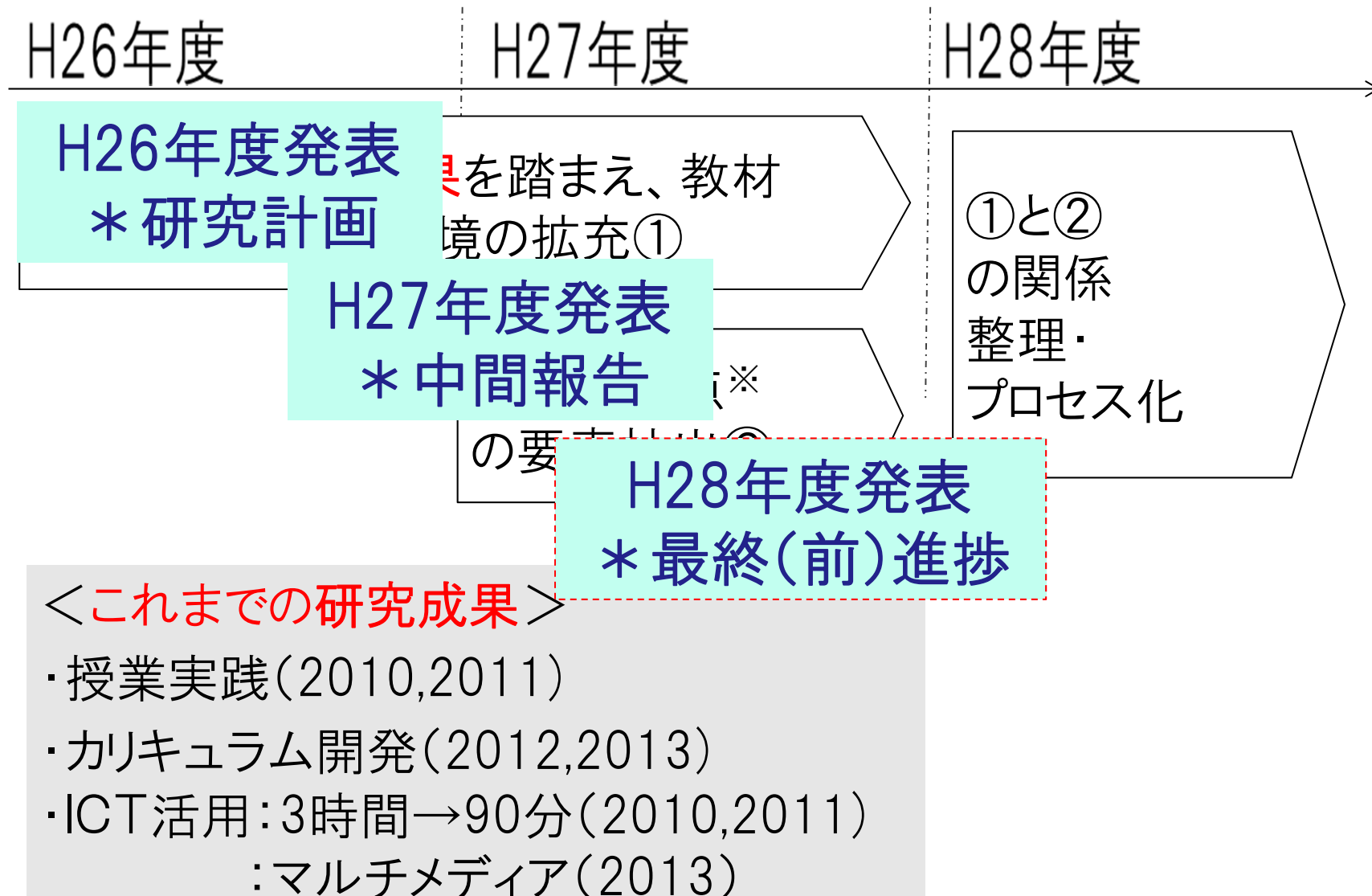
入社3年目までに、30%前後が離職



※3年計画(H26-28年度)で、形成・拡充・連携を推進

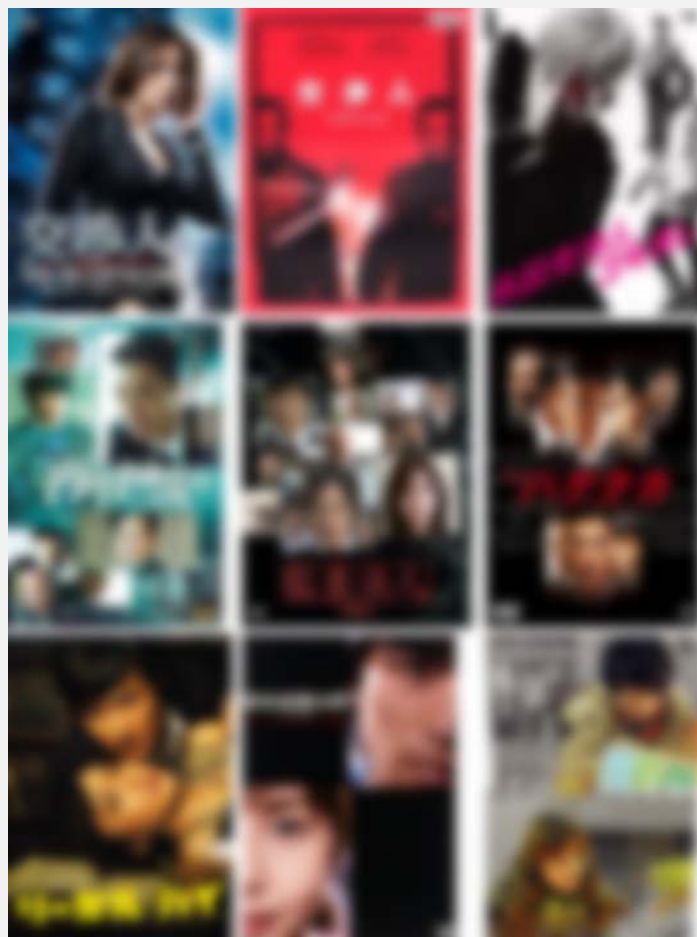


計画概要（研究Ⅰ：教材開発）



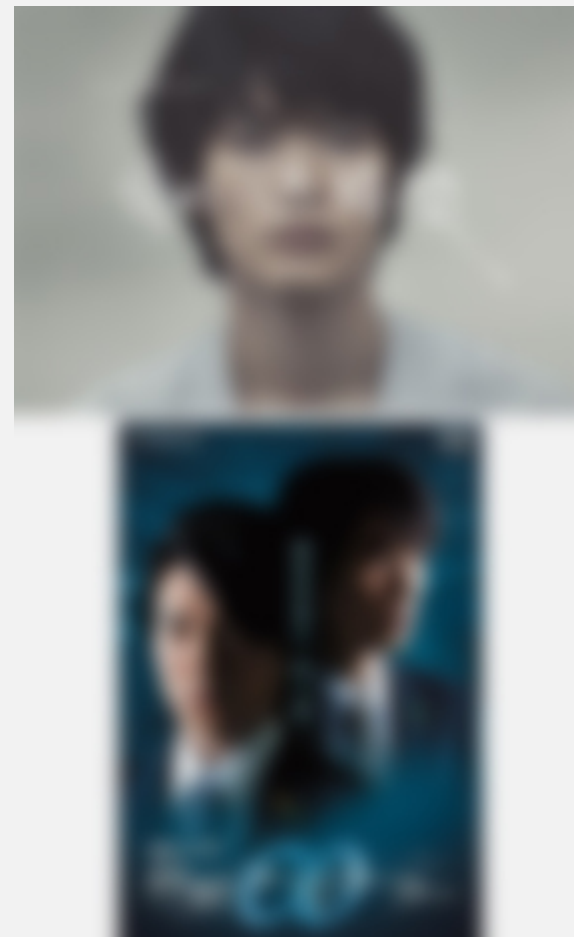
(参考) H26年度成果

＜DVD(テレビドラマ等)＞



検証

14作品から2作品を選定



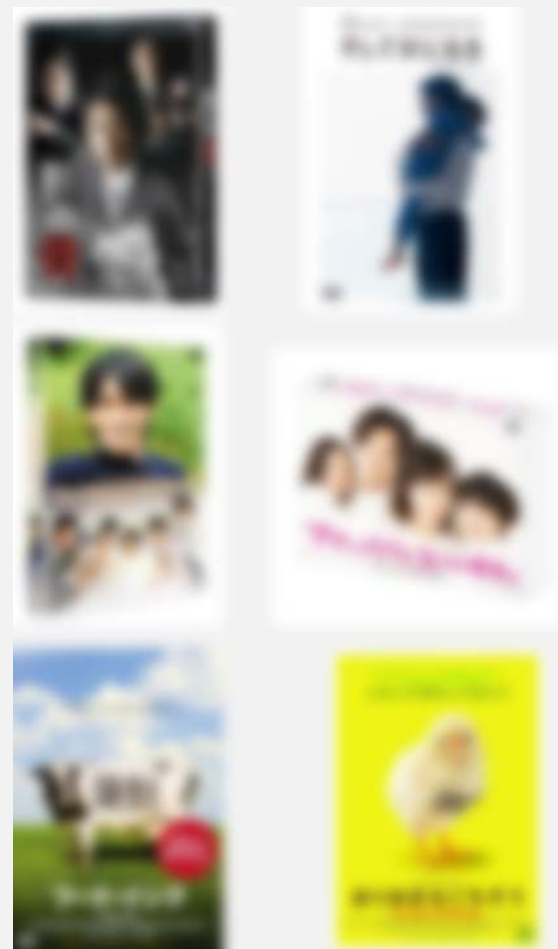
H27年度成果

<DVD(テレビドラマ等)>



検証

15作品から6作品を選定



○ 情報量は、多すぎず、少なすぎず

【第1話】 大学三年・冬

【第2話】 社会人一年目・春

【第3話】 診断名はALS

【第4話】 大切な人

視聴なし
画像＋説明

第4話視聴
&ワーク

全11話の
テレビドラマ

出所：フジテレビ「僕のいた時間」http://www.fujitv.co.jp/bokumotaitan/spc_gallery/index04.html 抜粋

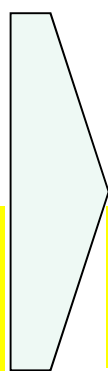
○ 90分の構成は、起承転結が基本

引用：DVD土曜ドラマ「鉄の骨」第1話、NHK、2010年 [全5話]



【視聴】

0:00～(3分)



【視聴】

4:50～(4分)



【視聴】

9:00～(2分)



【視聴】

14:20～(3.5分)

感想

個人ワーク

グループワーク

賛同しやすい
導入
(あるある度)

疑問

個人ワーク

グループワーク

内容の理解
・自分事へ
(なるほど度)

問題提起

グループワーク

予想外の
展開
(うなり度)

まとめ

全体共有

集中して
聞く・話す・書く
(とまらない度)

○シーンは非日常でも、ワークは実感湧くもの



建設業界の談合 *大企業、政治・

→会社で働く（仕事のやりがいとは）



臓器移植 *2010年法改正、公平性・

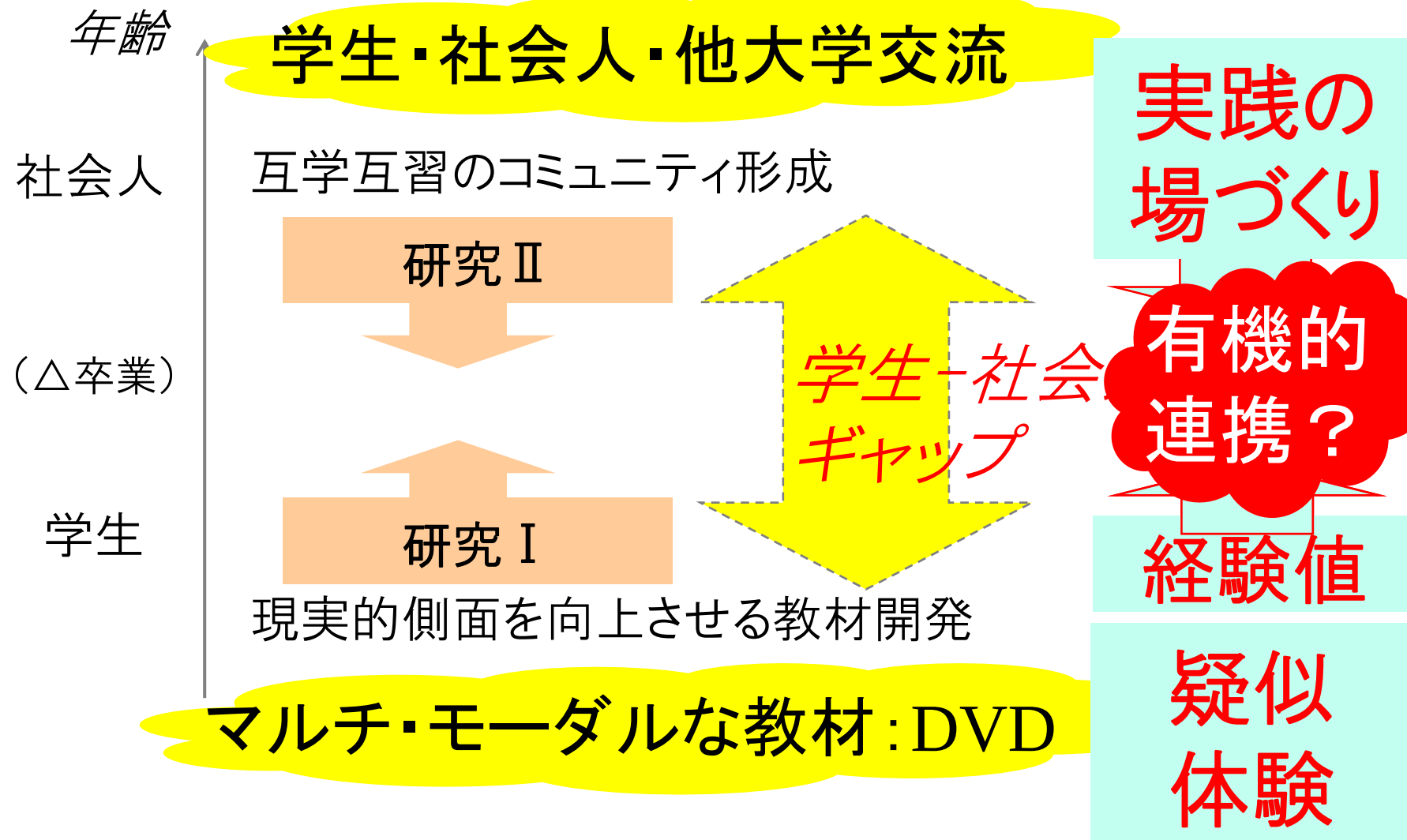
→身内が事故で脳死（死とは）



病院で赤ちゃんを取り違え *6歳で発覚・

→家族の生活習慣を比較（家族愛とは）

画像引用元：<http://www.amazon.co.jp/>



学生-社会人ギャップ

◆ 学生だから・・・、社会人だから・・・の差よりも

- ✓ 経験から学ぶのか、単に時間が過ぎただけか
- ✓ 背景・理由をどこまで掘り、深められるのか
- ✓ 自分事としてどこまで考え、向き合えるのか？

◆ ギャップがあるからこそ・・・

- ✓ 社会人との対話⇔(学生には)未来の自分との対話

ご清聴ありがとうございました。
ご不明点など、ご連絡ください。
m-tagami@otemon-ac.jp

追手門学院大学
基盤教育機構
田上正範